

平成16年5月 構造改革特区計画及び地域再生計画の認定申請意向調査 調査票

ご記入に当たっての留意事項

一つの目標・テーマの計画は、1行に記入してください。(特区単独、地域再生単独、または両方の場合)

既存の特区計画を単に地域再生計画の関連事業として位置づける場合、当該特区計画をここに記載する必要はありません。

テーマが異なる複数の計画を申請する場合は、行を挿入して記入してください。

その他、下記の記載に当たっての留意事項や、別シートの記入例を参考としてください。

列の挿入、セルの結合は絶対に行わないでください。

セル内部での改行は、ウインドウズの場合「Alt+Enter」です。

申請分類	新規・変更の別		都道府県番号	都道府県名	市町村コード	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称及び 地域再生計画の名称	特区の区域 の範囲	地域再生計画の概要	特区計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	規制の特 例措置の 番号	備考	担当部署	担当者名	電話	fax	メールアドレス	事前相談 の都合
	特区	地域再 生																	
以下の 分類で コードを 半角数字 で入力し てください。 特区申請 のみ 1 地域再生 申請のみ 2 特区と 地域再生 両方の申請 3	新規の 認定申請 0 特区の特 例の追加を 伴う変更 1 特例の追加 を伴わない 変更 2	新規の 認定申請 0 地域再生 の支援措 置の追加を 伴う変更 1 支援措 置の追加を 伴わない変 更 2	2桁の コード 【例 北 海道 01】 半角数字 で入力し てください。		申請主体 に市町村 が含まれる 場合は、市 町村コード (複数ある 場合は、一 番番号の 若い市町 村のコード を半角数字 で記入し てください。	共同申請 する場合は、 全ての団体名 を記載してく ださい	特区計画と地 域再生計画を 併せて認定申 請する場合、 地域再生計画 の名称と特区 の名称を2段 書きしてくだ さい。	地域再生 計画単独の 認定申請の 場合、記入の 必要はありま せん。  特区の変更 認定申請の 場合であっ て、変更がな い場合は記 載不要。	"250字以内" で地域再生計 画の概要を記 述してください (厳守)  特区計画単 独の認定申請 の場合、記載 の必要はあり ません。	"250字以内" で特区の概要 を記述してく ださい(厳守) 地域再生計 画の概要と同 じ場合は、「地 域再生計画に 同じ」と記入。  地域再生計 画単独の認定 申請の場合、 記入の必要は ありません。	申請する 全ての支 援措置の 番号を記 載してく ださい(半 角数字で)	申請する全 ての特定 事業の番 号を記載し てください (半角数字 で)  変更申請 であって、 規制の特 例措置を追 加(削除)す る場合は、 現計画の 規制の特 例番号をす べて記載 するととも に、追加 (削除)する 番号に下 線(取消 線)を付し てください	複数の地方公共 団体の共同申請 の場合は、代表 となる地方公共 団体の担当者を 記入願います。	4月5日 から16日 で、特に 都合の悪い 日がある等 の事情がある 場合には、 その内容を 記入してく ださい。					

平成 16年 5月 構造改革特区計画及び地域再生計画の認定申請意向調査 調査票

ご記入に当たっての留意事項

一つの目標 テーマの計画は、1行に記入してください。(特区単独、地域再生単独、または両方の場合)

既存の特区計画を単に地域再生計画の関連事業として位置づける場合、当該特区計画をここに記載する必要はありません。

テーマが異なる複数の計画を申請する場合は、行を挿入して記入してください。

その他、下記の記載に当たっての留意事項や、別シートの記入例を参考としてください。

列の挿入、セルの結合は絶対に行わないでください。

セル内部での改行は、ウインドウズの場合「Alt+Enter」です。

申請分類	新規 変更の別		都道府県番号	都道府県名	市町村コード	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称及び地域再生計画の名称	特区の区域の範囲	地域再生計画の概要	特区計画の概要	地域再生の支援措置の番号	規制の特例措置の番号	備考	担当部署	担当者名	電話	fax	メールアドレス	事前相談の都合
	特区	地域再生																	
3	1	0	1	北海道	1202	市	×農村活性化特区 農村再生計画	市の全域	過疎化、高齢化に伴う農業の担い手不足を背景として、定未利用の農地が急増しているとともに、地域経済も停滞している。このため、基幹産業を農業としながらも、観光と融和した新たな農業へと転換等することが不可欠であることから、建設業者が農業経営に参入するとともに、補助事業により整備された農村活性化センターを改修しグリーンツーリズムの拠点として整備することにより、都市との交流人口増を図る。地域の特色である冬の雪とつづくの郷土料理などで、心をこめておもてなしする体験交流等の取り組みをとおり、新たな起業化の促進と、活力ある農村地域の再生を目指す。	地域再生計画と同じ	13004	407 707 1001 4002 1006		農村振興課企画係	再生 太郎	03(5521)66**	03(5521)66**	saisei@tokku.city.jp	
以下の分類でコードを半角数字で入力してください。特区申請のみ 1 地域再生申請のみ 2 特区と地域再生両方の申請 3	新規の認定申請 0 特区の特例の追加を伴う変更 1 特区申請のみ 1 地域再生申請のみ 2 特区と地域再生両方の申請 3	新規の認定申請 0 地域再生の支援措置の追加を伴う変更 1 支援措置の追加を伴わない変更 2	2桁のコード 【例】北海道 01】 半角数字で入力してください。		申請主体に市町村が含まれる場合は、市町村コード(複数ある場合は、一番番号の若い市町村のコード)を半角数字で記入してください。	共同申請する場合は、全ての団体名を記載してください。	特区計画と地域再生計画を併せて認定申請する場合、地域再生計画の名称と特区の名称を2段階書きしてください。	地域再生計画単独の認定申請の場合、記入の必要はありません。  特区の変更認定申請の場合であって、変更がない場合は記載不要。	"25.0字以内"で地域再生計画の概要を記述してください(厳守)  特区計画単独の認定申請の場合、記載の必要はありません。	"25.0字以内"で特区の概要を記述してください(厳守) 地域再生計画の概要と同じ場合は、地域再生計画と同じと記入。  地域再生計画単独の認定申請の場合、記入の必要はありません。	申請する全ての支援措置の番号を記載してください(半角数字で)	申請する全ての特定事業の番号を記載してください(半角数字で)  変更申請であって、規制の特例措置を追加(削除)する場合は、現計画の規制の特例番号をすべて記載するとともに、追加(削除)する番号に下線(取消線)を付してください						複数の地方公共団体の共同申請の場合は、代表となる地方公共団体の担当者を記入願います。	4月5日から16日で、特に都合の悪い日がある等の事情がある場合には、その内容を記入してください。

記入例